

こぶノホオホヨホ、仕事場で手斧ちゆうなまた持とうかいな、金銭儲けるのが手柄ぢや稼がんせ、職人の朝寝はころりとやめイヤころりとやめ』

「ウハハハハ、起きたか」

『起きたら手水ちゆうづを使わんせ、飯喰て仕事に行きややんせヤア、宜い息子ぢやに改心なされ宜い息子ぢや宜い息子ぢやすこぶる美男の宜い息子じやノホオホヨホ、あろうかいな』

「イヤキツキ」

「そら何をするね」

「こら甚い面白いわ、毎朝こないにして起して、大きに憚りさん、仕事に行くわ」

其儘御飯を食べて仕事に行て仕舞ました。

「コレ親父どんチョツと此處へおいで、向ひの源さんは阿呆やないか與次さんに起されて猿になつて仕事に行くとは源さんは餘つ程馬鹿やないか」

「婆どん何を云ふね、例へ猿になつてでも仕事に行て呉れたら結構ぢや、内の悴をみい、毎晩虎にならにや歸つて來よらん」

### 第廿六回 「上方はなし」を聴く會

當十二月十日（日曜日）午後一時より

於 内本町松屋町 松 竹 座

#### 組 番

東	天	蛸	向	崇	新	猫	林	林	笑	笑	桂	桂	花
の	狗	坊	付	德	作		家	家	福	福			之
旅	さ	主	け	院	落	忠	小	染	亭	亭	米	米	團
	し				語		染	三	里	米	松	米	治
								鶴	鶴	團		團	助
													治